草加市立歴史民俗資料館

れきみんだより vol.14

新校舎で改めて開校式をあげた川柳尋常高等小学校（明治 33 年 [1900]）

企画展「草加の子どもと学校ー寺子屋からのあゆみー」開催

会期：令和 4 年 10 月 18 日（火）～ 12 月 28 日（水）

今から 150 年前の明治 5 年（1872）8 月、我が国最初の近代的学校制度を定めた法令である学制が公布されました。

「必ず邑ニ不学の戸なく家に不学の人なからしめん事を期す」と宣言した学制は、全国を大･中･小学区に分けて学校を設置し、全国民に教育を受ける機会を与えることを目的として公布されました。学制公布により、明治 7 年（1877）までに、我が国では 2 万 5000 もの学校が開校しました。

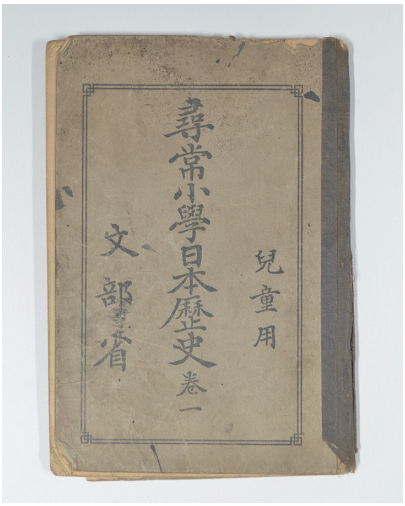
学制公布の年、草加地域では草加小学校が開校し、翌年には川柳小学校、谷塚小学校、新田小学校が開校しました。いずれの学校も開校当初は、寺院の一角を教場とするなど、寺子屋の面影が色濃く残っていましたが、試行錯誤を重ねながら、地域の教育施設として発展していきました。

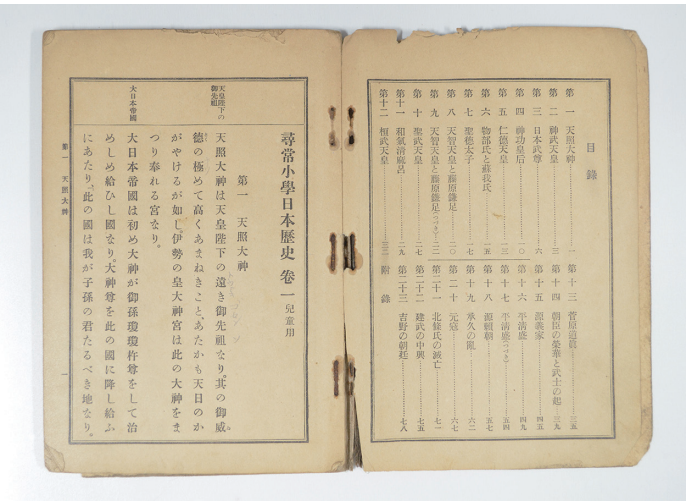
企画展では、江戸時代後期から第二次世界大戦までを対象とし、草加地域における教育制度の発展を伝える資料を始め、各小学校で使用されていた教科書や石板、謄写版などを展示しています。特に教科書は、明治 37 年（1904）に国定化されると、政府の意向が強く反映されるようになり、教育の変化を如実に捉えることができます。

この他、会期中は企画展講座や職員による展示解説も開催します。

学制公布 150 年という節目の機会に、草加の教育の歴史を振り返っていただければ幸いです。

◆収蔵資料紹介　第１４回　日本史教科書『尋常小学日本歴史』巻一





『尋常小学日本歴史』は、明治 42 年（1909）に発行された日本史の国定教科書です。当館蔵のものは草加小学校で使用されたものになります。

本教科書の発行当時、教科書は国または国の指定する機関・団体が著作発行したものに、使用が限定されていました。それらの教科書を国定教科書といい、4 度の改定を経つつ、明治 37 年（1904）から昭和 20 年（1945）まで使用されました。

さて、教科書の内容ですが、巻一は神代から南北朝時代までの歴史を収録しています。書き出しの「天照大神」では、「天照大神は天皇陛下の遠き御先祖なり」と始まり、我が国の歴史の出発点を『古事記』『日本書紀』に記された神話に求めています。考古学的な記述を一切省いて神話を採用した背景には、建国の体制や皇統の無窮といった国体観念をもたせる上で不可欠な知識であるとの判断からと考えられています。また、挿絵が多く加えられ、史実の真偽はさておき、歴史上の人物や出来事の抽象化が図られているのが特徴です。

ところで、本教科書では、南北朝時代は「吉野の朝廷」と題し、吉野（奈良県吉野町）で政権を樹立した後醍醐天皇方の南朝を正当な皇統に位置付け、足利尊氏に擁立された北朝は、閏位（正統ではない王位）として記述されています。そのため、北朝方の 5 代の天皇は「光厳院」「光明院」などと記載され、天皇一覧表からも削られています。

実は、本教科書の初版時は、「吉野の朝廷」部分は「南北朝」と題され、両朝に軽重を設けず、皇統が二分して対立関係にあったと記述されていました。当時の政府や有識者の間では、南朝を正統とする見解が圧倒的多数を占めていましたが、本教科書の編さん時点で南北両朝のいずれが正当な皇統か公式見解が示されていないことに配慮したためといわれています。

しかしながら、本教科書が発行されると、南北朝並立の記述を巡って疑義が呈され、帝国議会で取り上げられるほど大きな問題に発展しました。その結果、政府が南朝を正統とする政治的措置をとり、教科書の編さんに携わった文部省職員は停職処分、教科書の内容も南朝を正統とした内容に改定されることになりました。

この問題は、国家による教育への介入の代表例として取り上げられてきましたが、近年の研究では、当時の報道機関が大逆事件の裁判における幸徳秋水の発言と関連付けて報じたことや野党が桂内閣の倒閣に利用したことなど、複合的な要因が絡む政治問題であると指摘されています。

現代でも教科書の記述をめぐる問題が度々起こりますが、そこには学術的な見解の相違のみではなく、その時代の社会・政治問題が隠されています。本教科書の記述をめぐる問題は、歴史教科書が抱える複雑さの一端を伝えてくれます。

◆れきみん歳時記（令和４年２月～５月）◆

歴史民俗資料館で開催した講座やイベントなどの取組を紹介します

2月 きらびやかな桃の節句

毎年恒例の企画展「桃の節句展」を開催しました。当館蔵の雛飾りや市民の方が制作したつるし飾りなど、きらびやかな展示が館内を彩りました。

会期中は、近隣の保育園の園児の皆さんが見学に来て、楽しんでくれました。

4月 笑ってコラえて！出演！

日本テレビ系列で放送中の「一億人の大質問!? 笑ってコラえて！」の企画として、俳優の向井 理さんがれきみんに遊びに来てくれました。展示中の川舟に乗ったり、蓄音機「キュマーベ」でレコードを鑑賞して楽しまれていました。

3月 草加まち歩きツアー

草加市観光協会主催の「草加まち歩きツアー」が開催され、参加者がれきみんに足を運んでくれました。ツアーをより楽しんでもらおうと、職員も張り切って、草加宿と草加松原の歴史を紹介させていただきました。

5月 みんなのこいのぼり！

企画展「端午の節句展」では、こいのぼりのぬり絵を用意して、色を塗ったこいのぼりを廊下に用意した空色の大きな画用紙に貼ってもらいました。たくさんのカラフルなこいのぼりが空を泳ぐ、一つの大きな作品ができあがりました。

◆企画展の次回予告

タイトル：桃 の 節 句 展

開催期間：令和５年２月５日（日）～３月５日（日）

明治･昭和･平成時代の雛飾りを始め、御殿飾りや源氏物語貝合わせなど、当館蔵のきらびやかな節句飾りを展示します。また、市民の方が制作されたつるし飾りも展示します。

厄を祓い、健やかな健康や長寿を願う節句行事の展示をお楽しみください。

昨年度の展示風景

◆れきみんブックレット配布しています

資料館では、草加の歴史・文化を多くの方に分かりやすく紹介するため、れきみんブックレットを発行しています。

最新号『草加松原のれきし』では、江戸時代から現代に至る草加松原の歴史に加え、草加松原内に設置されたモニュメントを紹介しています。

窓口で無料配布しています。ぜひ、ご覧ください。

草加市立歴史民俗資料館

facebook やってます！

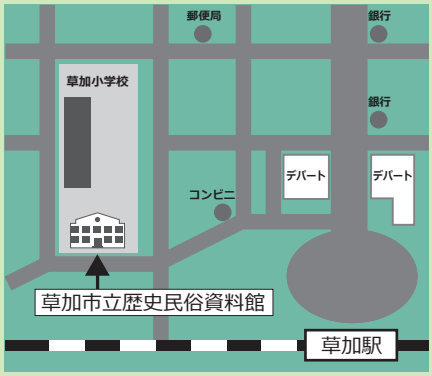
皆さんに草加市の歴史や文化、資料館の活動を伝えたくて公式フェイスブックページを開設しています。
様々な情報を発信してますので、ぜひ、ご覧ください！

いいね ！

草加市立歴史民俗資料館

市公式ホームページ内のＳＮＳページ、または右の二次元コードからアクセスできます

【開館時間】 午前９時から午後４時３０分まで
【休 館 日】 毎週月曜日（祝日または振替休日の場合は翌平日）
年末年始
【入 館 料】 無料
【住　　所】 〒340-0014　埼玉県草加市住吉一丁目 11 番 29 号
【問合せ先】 電話　048(922)0402　　ファクス　048(922)1117
Ｅ -mail　sokarekimin@city.soka.saitama.jp



東武スカイツリーライン「草加駅」下車東口徒歩７分
駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

れきみんだより　vol.14
発行日：令和４年（2022）１１月２０日　編集・発行：草加市立歴史民俗資料館